

第73回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第1日目 10月14日(水)

1回戦	仙台市民球場	2時間	12分			打安点盗犠四三残失併
柴田	0 0 0	0 0 4	3 0 0	7	【柴】	39 14 7 0 2 3 9 10 0 2
学法石川	0 0 0	0 2 0	0 0 0	2	【学】	30 5 2 0 0 3 0 4 0 0
(球) 西尾新一(山形)	(一) 武田 徹	(二) 森山宏則	(三) 布田秀斗			▽本塁打 なし
【柴】	谷木	—	舟山			▽三塁打 権守(学)
【学】	高橋, 菊池, 阿部, 立石	—	山田			▽二塁打 舟山2, 沼田, 遠藤 (柴)
▽暴投	谷木1(柴)		▽捕逸	なし		なし (学)

【評】

中盤強力打線の繋がりを見せた柴田が学法石川を振り切り開幕戦を制した。先制したのは、学法石川。4回まで1安打に抑えられた打線は、5回8番黒川、9番高橋の連打で好機を作ると1番権守の適時三塁打で2点を先制した。追う柴田は6回先頭舟山の右安打を皮切りに5安打で4点を取り逆転に成功した。7回にも投手の代わり側を攻め3点を追加した。投げては、柴田先発谷木が力のあるストレートで相手打線を封じ勝利を引き寄せた。柴田は、投打が噛み合い7年ぶりの東北大会初戦を勝利で飾った。

1回戦	石巻市民球場	2時間	31分			打安点盗犠四三残失併
鶴岡東	0 0 0	0 0 0	2 0 0	2	【鶴】	31 4 2 0 1 3 7 6 0 0
花巻東	0 1 2	0 0 0	2 2 X	7	【花】	31 9 6 0 2 7 3 9 1 0
(球) 三浦 徹	(一) 浅利卓真	(二) 佐藤 圭	(三) 山舘浩樹			▽本塁打 なし
【鶴】	津田, 海藤	—	堀部			▽三塁打 なし
【花】	菱川, 平井	—	田代			▽二塁打 安藤 (鶴)
▽暴投	津田1(鶴岡東)	菱川1(花巻東)	▽捕逸	なし		菱川, 佐藤, 黒澤 (花)

【評】

花巻東は2回裏、一死2・3塁で7番平井のレフトへの犠飛で先制した。3回裏にも四球と安打でチャンスを広げ二死2・3塁で4番菱川のレフト線への二塁打で2点を追加しリードを広げた。投げては先発菱川が、6回まで鶴岡東打線を無安打に抑えたが、7回に2点を失うも、終盤の打線の援護で加点し鶴岡東を突き放し初戦に勝利した。

鶴岡東は7回に4安打で2点を返し、1点差まで追い上げたが、後続が抑えられ追いつくことができず、4安打に抑えられ初戦敗退となった。

2回戦		仙台市民球場		1時間 58分				打安点盗犠四三残失併	
由利工業	0 0 0	0 1 0	0 0 0			1	【由】	33 5 1 0 1 1 10 7 2 0	
東北	0 0 2	0 0 2	0 0 x			4	【東】	29 7 4 1 3 4 4 8 3 1	
(球) 高橋英(岩手) (一) 太田博昭 (二) 曾根徳明 (三) 小倉貴仁								▽本塁打	なし
【由】	高瀬、齊藤		一 佐藤大					▽三塁打	竹中(東)
【東】	司城、佐々木、鍵本、庄司		一 中道					▽二塁打	なし (由)
▽暴投 高瀬1(由)		▽捕逸 中道1(東)							なし (東)

【評】

東北が4人の投手の継投で由利工業の攻撃を1点に抑え、チャンスを着実に活かして得点を重ねて勝利をつかんだ。

東北は3回裏、四球で出塁したこの回先頭の司城を犠打で送った後、2番中町の中前打で先制。さらに、盗塁で2塁に進んだ中町を4番伊藤が右前打で返して2点目を挙げた。由利工業は4回表の無死満塁のチャンス逃した後の5回表、中前打で出塁した8番佐藤が2番高橋の右前打で生還し1点を返した。6回裏東北は、1死後右中間三塁打の5番竹中を6番高橋がスクイズ(記録は安打)で生還させ、7番関戸8番中道の連打でさらに1点を追加し、4点目を挙げて由利工業を突き放した。

由利工業は、継投の3人の投手に6回以降無安打に抑えられ、反撃は叶わなかった。

2回戦		仙台市民球場		2時間 26分				打安点盗犠四三残失併	
羽黒	5 2 1	0 0 0	0 0 2			10	【羽】	39 13 10 0 1 7 5 10 1 0	
盛岡大附	0 0 0	2 0 0	0 2 3			7	【盛】	36 8 7 2 0 3 6 5 0 0	
(球) 野田学 (一) 西山充 (二) 毛利晃 (三) 吉田喜典								▽本塁打	池田(羽), 渡邊(盛)
【羽】	奥中, 本間		一 高橋柊					▽三塁打	櫻井(羽), 小針(盛)
【盛】	三浦, 渡邊		一 田屋					▽二塁打	齋藤2, 奥中 (羽)
▽暴投 奥中1(羽)		▽捕逸 なし							新井2 (盛)

【評】

序盤にリードした羽黒高校が、終盤の盛岡大附属高校の反撃をしのぎ、乱打戦を制した。羽黒高校は、1回表2アウトランナー無しから、3番菅井のセカンド強襲安打を皮切りに6番齋藤と8番奥中の適時二塁打で一挙5点をあげた。2回表も2点を追加し、3回表には9番池田の左越本塁打で1点を加え、8対0とリードを広げた。

対する盛岡大附属高校は、4回裏に4番小針の適時右中間三塁打などで2点を返し、8回裏には2番渡邊の左越2点本塁打で追い上げた。9回表、羽黒高校は1番櫻井の適時右中間三塁打で2点を追加するも、9回裏、盛岡大附属高校は代打の南と1番松本の適時右前安打で3点を返して最後まで追い上げたが、及ばなかった。

2回戦		石巻市民球場		2時間 29分				打安点盗犠四三残失併	
日本大学山形	0 0 1	2 1 1	0 0 0			5	【日】	36 10 5 1 2 4 8 10 1 1	
聖愛	1 2 0	0 0 0	0 0 0			3	【聖】	30 6 2 3 2 8 5 10 1 0	
(球) 吉田将則 (一) 高橋弥寿仁 (二) 加藤修一 (三) 浅野卓也								▽本塁打	大類(山), 秋葉(山)
【日】	小野, 大類, 齋藤		一 梅津					▽三塁打	なし
【聖】	町田, 木村, 葛西		一 松坂					▽二塁打	秋葉 (日)
▽暴投 小野1(山形), 齋藤1(山形), 町田1(聖愛), 木村1(聖愛)		▽捕逸 松阪2(聖愛)							長利, 高木 (聖)

【評】

序盤は弘前学院聖愛が試合の主導権を握った。日大山形の先発左腕小野の立ち上がりをとらえ、2塁打と犠打でチャンスを広げ、暴投で先取点を挙げた。2回にも四球とエラーで広げたチャンスに内野ゴロと押し出しでさらに2点を挙げた。

追う日大山形は3回に1点、4回には今大会第1号となる大類の2ランが出て同点とするなど、次第に流れを奪い返した。5回にも1点、さらに6回に2番秋葉の本塁打で追加点を挙げた。継投に入った後は日大山形投手陣が聖愛につけ入る隙を与え、最後まで丁寧な投球を見せ、リードを守り切った。

2回戦		石巻市民球場		1時間 51分				打安点盗犠四三残失併	
仙台育英	0 0 0	1 0 0	2 4			7	【仙】	33 11 7 4 2 1 1 5 0 0	
湯沢翔北	0 0 0	0 0 0	0 0			0	【湯】	26 3 0 1 0 1 13 3 5 1	
(球) 小松健春 (一) 菅原幸 (二) 西城皇祐 (三) 福田好伸								▽本塁打	なし
【仙】	松田, 中村		一 木村					▽三塁打	なし
【湯】	佐藤創, 武藤		一 佐藤悠					▽二塁打	八巻2, 岡田, 小野 (仙)
▽暴投 武藤1(湯沢)		▽捕逸 佐藤悠1(湯沢)							なし (湯)

【評】

仙台育英が終盤、集中打を浴びせて8回コールドで湯沢翔北に勝利した。

序盤は仙台育英・松田と湯沢翔北・佐藤の息詰まるような投手戦で、5回終了時点で仙台育英が1-0で辛うじてリードしていた。しかしながら、仙台育英は疲れが見え始めた湯沢翔北・佐藤から連打を浴びせ7回2点、8回4点を挙げ突き放した。特に6番・八巻は4安打2打点の大活躍だった。

先発した仙台育英・松田の投球も見事だった。5回1死まで無安打に封じ、湯沢翔北打線を2安打・11奪三振に抑えた。

第73回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第2日目 10月15日(木)

2回戦	石巻市民球場	2時間	36分			打安点盗犠四三残失併
柴田	3 2 0	0 0 1	0 0 0	6	【柴】	35 8 4 1 2 5 8 9 1 0
八戸学院光星	0 0 0	2 0 0	0 0 0	2	【八】	32 7 2 1 2 7 3 12 2 0
(球)	西尾新一 (一) 湊尚美 (二) 雁部博昭 (三) 森山宏則					▽本塁打 なし
【柴】	谷木	—	舟山			▽三塁打 横山(八)
【八】	太田, 横山, 渡部, 森, 洗平	—	久守			▽二塁打 菅野(柴) 北浦(八)
▽暴投	谷木(柴), 横山(八)		▽捕逸	久守(八)		

【評】

柴田高校が八戸学院光星を破り、準々決勝に駒を進めた。柴田高校は初回到、先頭我妻の右翼前安打から、犠打と四球で一死1・2塁とし、4番菅野の右翼線2塁打で先制した。その後捕逸などによる追加点で3-0とし、続く2回にも相手守備のミスや内野安打などで2点を追加した。6回に二死からの3連打で追加点を挙げて相手を引き離れた。

一方の八戸学院光星は4回に7番須藤の出塁から9番横山の左中間3塁打や2番伊藤の左翼への安打で2点を返したが、7回の無死1・2塁の好機を抑えられた。投手5人で反撃を図ったが、実らなかった。

2回戦	石巻市民球場	1時間	44分			打安点盗犠四三残失併
福島商業	0 2 1	0 0 0	0	3	【福】	29 6 3 0 0 1 5 6 2 1
八戸西	0 1 1	5 1 0	2x	10	【八】	25 10 10 2 4 3 1 3 1 0
(球)	佐藤拓哉 (一) 小松宗夫 (二) 太田博昭 (三) 渡辺明夫		(7回コールド)			▽本塁打 廣田(八)
【福】	浅倉	—	熊坂			▽三塁打 熊坂, 小室(福), 西谷(八)
【八】	福島	—	藤本			▽二塁打 飯塚, 田中(福) 西谷, 福島, 廣田(八)
▽暴投	浅倉2, 福島2		▽捕逸	なし		

【評】

八戸西高校が7回コールドで福島商業高校を退けた。

先制したのは福島商業。2回表、一死一・三塁から7番熊坂が右翼越えの三塁打で2点を先制。3回表にも2本の長打で1点を追加し、序盤は福島商業のペースで試合が進んだ。

しかし、八戸西は2回・3回に1点ずつ返すと、4回裏には1死満塁から、9番福島が2塁打を放ち、一気に逆転に成功。その後、8対3として迎えた7回裏には1死1塁からこの試合すでに3安打の廣田が2点本塁打を放ち、試合を決めた。福島商業は4回以降打線が振るわなかった。

2回戦	仙台市民球場	2時間	25分			打安点盗犠四三残失併
東日大昌平	4 0 1	2 0 0	0 2 0	9	【東】	37 14 8 2 4 7 8 12 1 2
一関学院	0 0 0	3 2 1	0 0 0	6	【一】	34 10 6 2 2 2 5 5 1 0
(球)	浅利卓美 (一) 小松健春 (二) 沼辺力也 (三) 細川和行					▽本塁打 なし
【東】	矢板, 鈴木	—	岸田			▽三塁打 岸田, 邊見(東)
【一】	伊藤, 千葉華, 奥谷	—	高橋			▽二塁打 坂本(東) 鈴木幹(一)
▽暴投	奥谷1(一)		▽捕逸	なし		

【評】

追い上げる一関学院を振り切り東日大昌平が地力の差を見せた。初回東日大昌平は、好機から5番岸田、6番金井の連続適時打等で4点を先制すると3回、4回にも着実に加点し、一時7点差までリードを広げた。

追う一関学院は、4回裏無死二塁から4連打と犠飛で3点を返すと一気に追い上げムードになり、6回二死二塁か1番佐藤拓の中前適時打で1点差とした。しかし、その後は東日大昌平二番手鈴木が踏ん張り一関学院打線を封じ込めた。8回にも追加点を上げた東日大昌平が福島第1代表の意地を見せ初戦を飾った。

2回戦	仙台市民球場	2時間	24分			打安点盗犠四三残失併
角巻館	0 0 0	0 0 0	0 1 0	1	【角】	34 5 1 3 0 2 11 8 2 0
花巻東	1 0 0	0 0 0	0 0 1x	2	【花】	32 7 2 2 2 5 4 11 3 1
(球)	吉田将則(福島) (一) 錦田代志昭 (二) 水戸恭平 (三) 曾根徳明					▽本塁打 なし
【角】	武田	—	藤峰			▽三塁打 なし
【花】	中居, 菱川	—	田代			▽二塁打 伊藤慧, 原(角) 菱川(花)
▽暴投	菱川1(花)		▽捕逸	なし		

【評】

花巻東が9回サヨナラ犠飛で勝利をつかみベスト8へ進出した。

花巻東は初回4番菱川の左中間を抜く二塁打で先制。粘る角巻は8回死球、失策などで作った1死1・3塁の好機で3番木村の併殺崩れの間1点をあげ追いついた。しかし、花巻東打線も2回以降角巻エース武田の要所を締める投球の前に点数を取ることができず苦しんだが、9回裏先頭打者の死球をきっかけに作った1死満塁に三番佐藤(史)が左翼への犠飛を放ち勝負を決めた。

第73回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第3日目 10月17日(土)

準々決勝	仙台市民球場	3時間	16分	打安点盗犠四三残失併
柴田	2 0 0 0 0 0	2 2 9	15	【柴】 44 18 14 1 4 7 10 13 2 0
東日大昌平	3 0 1 1 0 0	0 0 5	10	【東】 44 18 9 3 2 2 1 11 3 0
(球) 浅利卓美 (一) 西尾新一 (二) 浅野卓也 (三) 小松宗夫				▽本塁打 なし
【柴】 谷木, 岩崎, 日下	—	舟山		▽三塁打 岸田, 室塚(東)
【東】 矢板, 鈴木, 草野, 遠藤	—	岸田		▽二塁打 村上, 舟山 (柴)
▽暴投 岩崎1(柴), 矢板1(東)		▽捕逸 岸田1(東)		▽二塁打 邊見, 岸田 (東)

【評】
柴田が互いに18安打を放つ打撃戦を制し、準決勝へと駒を進めた。柴田は3点ビハインドで迎えた7回、5番村上の適時二塁打と捕逸で1点差に迫ると、続く8回には4番菅野の2点適時打でついに逆転。9回には打者14人の猛攻で一挙9点を挙げ突き放した。柴田の先発谷木は被安打12と毎回のように走者を許しながらも、粘り強い投球で逆転を呼び込んだ。東日大昌平は9回に5点差まで追い上げたが、及ばなかった。

準々決勝	仙台市民球場	1時間	52分	打安点盗犠四三残失併
仙台育英	2 3 0 0 3 0	3 0 0	11	【仙】 32 8 7 3 1 6 1 7 0 0
羽黒	0 0 1 0 1 0	0 0 0	2	【羽】 23 2 2 0 0 3 7 3 5 0
(球) 湊 尚美 (一) 綿田代志昭 (二) 沼辺力也 (三) 菅原 幸				▽本塁打 櫻井(羽)
【仙】 松田, 小林	—	木村		▽三塁打 櫻井(羽), 浅野(仙)
【羽】 奥中, 本間	—	高橋柊		▽二塁打 木村2, 浅野, 岡田 (仙)
▽暴投 本間2(羽)		▽捕逸 なし		▽二塁打 なし (羽)

【評】
1回表育英は一番浅野の右中間三塁打と2番島貫の中前打、ショートゴロエラーで2点を先制。続く2回には9番木村のレフト線二塁打と浅野のレフト越え二塁打、レフトフライエラーで3点を加え試合の主導権を握った。育英の猛攻は止まらず、5回にも2四球を足掛かりに島貫の右前打、木村のレフト線二塁打、ファーストゴロエラーで3点、7回には死球と右前打、相手投手の2つの暴投、犠打野選で3点を奪い、合計11点を奪い7回コールド勝ちを収めた。
羽黒は3回裏1番櫻井のレフト越え本塁打、5回にも櫻井の右中間三塁打で2点を挙げたが、育英先発の松田とリリーフの小林の前にわずかに散発2安打に抑えられた。羽黒は守備も乱れ、5失策が失点に結びついたのも痛かった。

準々決勝	石巻市民球場	2時間	11分	打安点盗犠四三残失併
東北	0 0 1 0 1 0	1 1 0	4	【東】 38 15 4 1 4 3 4 14 0 0
日大山形	0 0 1 3 1 0	2 0 X	7	【日】 32 10 7 2 3 3 7 7 0 0
(球) 小松健春 (一) 小泉忠夫 (二) 毛利 晃 (三) 手塚仁基				▽本塁打 なし
【東】 鍵本, 庄司, 司城	—	中道		▽三塁打 秋葉, 梅津(日)
【日】 齋藤, 滝口	—	梅津		▽二塁打 竹中 (東)
▽暴投 滝口2(日)		▽捕逸 中道1(東)		▽二塁打 佐藤, 伊藤 (日)

【評】
両チーム2桁安打を放つ乱打戦を制したのは山形第1代表の日大山形であった。
先制したのは東北。3回先頭の庄子が三塁への内野安打で出塁し、犠打で一死二塁から三番竹中の左翼線を破る二塁打で先制した。しかしその裏、日大山形は秋葉の右中間を破る三塁打と犠飛ですかさず同点とした。さらに日大山形は4回裏、4つの安打を重ね3点を加え試合を優位に進めた。
日大山形を上回る15安打を放った東北であったが、好機でのあと一本が出ず追いつくことはかなわなかった。

準々決勝	石巻市民球場	1時間	40分	打安点盗犠四三残失併
八戸西	0 0 0 0 0 0	0 0 1	1	【八】 27 3 1 1 2 2 6 3 1 0
花巻東	0 2 0 0 0 0	0 0 X	2	【花】 25 4 2 1 3 2 6 4 0 0
(球) 雁部博昭 (一) 武田 徹 (二) 高橋正博 (三) 水戸恭平				▽本塁打 なし
【八】 福島	—	藤本		▽三塁打 菱川(花)
【花】 中居	—	田代		▽二塁打 桐山 (八)
▽暴投 なし		▽捕逸 田代1(花)		▽二塁打 菊池開 (花)

【評】
先制したのは花巻東。2回裏、4番菱川が右翼への三塁打で出塁し、続く5番菊池の右翼越え二塁打で1点、その後、犠打・犠飛で1点を追加し、八戸西の好投手福島から2点を先制した。投げては左腕中居が7回まで八戸西打線を無安打に抑え、9回表に連続安打で1点を失うも3安打に抑え準決勝進出を決めた。
八戸西は、投手福島が2回に2失点した後は、花巻東の打線を散発2安打に抑え、味方の援護を待った。最終回に2番桐山の右中間への二塁打、3番西谷の右翼前への連続安打で1点を返すも後続が倒れ1点差で惜敗した。

第73回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第4日目 10月18日(日)

準決勝		石巻市民球場		1時間 53分															
柴田	日大山形	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【柴】	【日】	34	7	5	2	2	3	6	6	0	0	0	0	0	0	8	6	2	0
(球) 小泉忠夫 (一) 佐藤拓哉 (二) 布田秀斗 (三) 佐藤 圭 【柴】 谷木 舟山 【日】 小野, 大類, 齋藤 梅津 ▽暴投 谷木2(柴), 小野1(日) ▽捕逸 梅津1(日)																			

【評】
 初回の猛攻が柴田を決勝に導いた。1回表柴田は投手への内野安打で1番打者我妻が出塁すると、続く2番横山が四球を選び、3番船山の犠打で1死2・3塁となり、4番菅野のセカンドへの打球が野選となって先制点をもぎ取った。その後も7番遠藤の適時打などで4点を先取した。日大山形先発の小野は、立ち上がりの制球力がすぐれず、三四死球と暴投が絡み、4失点となり、大類にマウンドを譲った。柴田は3回表にこの回先頭の4番菅野がライト線への2塁打で出塁すると、続く5番村上が2点本塁打を放ち、日大山形を突き放した。柴田投手の谷木は9回無四球完封と丁寧な投球術で日大山形打線を抑えた。日大山形は後半に粘りを見せたが、及ばなかった。

準決勝		石巻市民球場		2時間 14分																
仙台育英	花巻東	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【仙】	【花】	31	7	0	1	1	2	5	6	0	1	0	0	0	1	3	6	6	1	2
(球) 平山友也 (一) 野田 学 (二) 三浦 徹 (三) 山館浩樹 【仙】 古川, 伊藤 木村 【花】 菱川 田代 ▽暴投 菱川1(花) ▽捕逸 なし																				

【評】
 2年連続決勝進出を目指す仙台育英と3年ぶりの決勝を目指す花巻東との準決勝。1点を争う好ゲームとなった。仙台育英は4回表一死から7番岡田の投内安打で出塁すると二死二塁から9番木村の遊ゴロ送球エラーを誘いこれが決勝点となった。花巻東は投手菱川を中心に粘り強く守り育英打線を7安打1失点と抑えたが、5安打と打線が振るわず悔しい敗戦となった。

第73回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第5日目 10月20日(火)

決勝 石巻市民球場 2時間 34分

柴田	0	0	0	0	0	0	1	0	1	18	【柴】	32	4	1	0	0	5	12	9	1	0
仙台育英	0	1	4	8	1	4	0	0	×		【仙】	38	15	16	3	2	7	2	5	1	0

(球) 平山友也 (一) 小泉忠夫 (二) 雁部博昭 (三) 佐藤拓哉

【柴】	南條, 谷木, 日下	一	舟山	▽本塁打	秋山, 八巻, 吉野(育)
【仙】	古川, 松田, 小林, 中村	一	木村, 小野, 小原	▽三塁打	八巻2, 島貫(育)
▽暴投	南條1(柴), 中村1(育)		▽捕逸	なし	(柴)
				▽二塁打	秋山, 松田 (仙)

【柴田】				【仙台育英】			
名前	打数	安打	打点	名前	打数	安打	打点
(右) 我妻 秀飛	5	1	0	(二) 浅野 洸司	5	1	0
(三) 横山 隼翔	2	0	0	二 大藤 想太	1	0	0
(捕) 舟山 昂我	2	1	0	(右) 島貫 丞	2	1	1
(一) 菅野 結生	4	0	0	(遊) 渡邊 旭	5	3	0
(中) 村上 太生輔	4	0	1	遊 橋本 颯太	0	0	0
(二) 沼田 大輔	4	2	0	(一) 吉野 蓮	3	2	5
(遊) 遠藤 瑠祐玖	4	0	0	(中) 秋山 俊	5	2	5
(左) 大和田 洸翔	1	0	0	(三) 八巻 真也	4	3	3
左 松田 世南	3	0	0	三 洞口 優人	0	0	0
(投) 南條 康佑	1	0	0	(左) 岡田 大成	4	1	2
投 谷木 亮太	0	0	0	左 宇治野 駿介	0	0	0
投 日下 裕翔	1	0	0	(投) 古川 翼	1	0	0
打 佐藤 琳空	1	0	0	打 奈良田 弦也	1	0	0
				投 松田 隆之介	1	1	0
				投 小林 寛大	2	1	0
				投 中村 和寛	0	0	0
				(捕) 木村 航大	3	0	0
				捕 小野 天之介	1	0	0
				捕 小原 捷平	0	0	0

チーム名	名前	打数	投球数	投球回数	投球回端数	被安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
柴田	南條 康佑	17	88	3	1	8	1	1	0	2	5	0	1	0	9	9
柴田	谷木 亮太	4	19		1	3	0	0	1	0	1	0	0	0	4	1
柴田	日下 裕翔	17	54	4	1	4	2	0	0	0	1	0	0	0	5	5
仙台育英	古川 翼	12	54	3		3	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0
仙台育英	松田 隆之介	3	15	1		0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
仙台育英	小林 寛大	10	46	3		0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0
仙台育英	中村 和寛	7	35	2		1	0	0	0	3	1	0	1	0	1	1

【評】

仙台育英が圧勝で東北大会優勝を飾った。同県対決となった決勝戦。初回はそれぞれランナーを出すものの、無得点に終わった。仙台育英は2回裏に三塁打の八巻を7番岡田がタイムリーで帰し、先制した。続く3回裏は無死満塁の場面で5番秋山が満塁本塁打を放ち、柴田を突き放した。4回裏も長短打を絡め8得点と大量リードとなった。5回裏は八巻、6回裏は吉野が本塁打を放った。柴田は塁上に走者を出すものの、中々得点に結びつかず、8回表に1点を返すのみとなった。

柴田の先発南條は、制球に苦しみながらの投球となった。2番手のエース谷木は育英打線を抑えきれず、ちょうど500球制限となる19球の本日の投球数でマウンドを日下に譲った。この大会猛打で勝ち上がった柴田打線であったが、この日は4安打と精彩を欠いた。

第73回秋季東北地区高等学校野球大会 成績

		学 校 名
優	勝	仙台育英学園高等学校 (2年連続11回目)
準	優 勝	宮城県柴田高等学校